

'14.7

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 木南岩男
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代)☎650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安 平 一 志
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第683号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成26年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲ブライダル事業への取組みに力を入れる藤川代表

Contents

■県連合会Letter 2~3頁

- ・県連理事会・第53回通常総会
- ・チーフコーディネーター研修連絡会
- ・ECサイト「ニッポンセレクト.com」に係る掲載商品の募集について
- ・小規模事業者持続化補助金の現状

■あなたのまちの元気な企業(南あわじ市) 4頁

■商工会Letter 5~6頁

- ・わくわくマップと大鳥圭介読本製作(上郡町)
- ・儲かる地域づくりへの挑戦……………(朝来市)
- ・和田山駅前トラ市……………(朝来市)
- ・震災復興フェスティバルin有馬富士(三田市)
- ・たかちょうプレミアム商品券を発売(多可町)

また、淡路島は食のイメージが強いことから、消費者の健康志向を考えながら「からだにやさしい」を基本に地産地消をイメージした食をお客様に提供している。

(詳細は4頁)

兵庫県南あわじ市「慶野松原」は、風光明媚な景勝地。約5万本の淡路黒松が生い茂り、白い砂浜が2.5km程にのびる瀬戸内海でも随一の白砂青松の地である。自然豊かな土地に、サンセットビューホテル「けひの海」(代表 藤川龍介氏)はある。

同社は、7年前に創業し、地域のリゾートホテルとして年配の方からお子さんまで、多くのお客様に愛されている。

サンセットビューホテル
けひの海

(南あわじ市)

自然と一体化したチャペルで
ブライダル事業を展開

県連理事会・第53回通常総会

県連合会は、5月29日、A N Aクラウンプラザホテル神戸において理事会及び第53回通常総会を開催した。

理事会では、次の4議案を提出して審議を行なった。

- 1、県連合会「事務処理規程」の一部改正について
- 2、平成25年度事業報告及び収支決算承認について
- 3、平成25年度特別会計収支決算承認について
- 4、平成26年度地域経済活性化支援費補助金特別会計収支予算設定について

審議の結果、第1号議案については、原案通り承認可決した。また、第2号議案から第4号議案については、原案通り承認され、通常総会に提案することになった。

審議終了後、4月21日に開催した事業委員会の結果と平成26年度新規事業である異業種交流活性化支援事業実施要領の制定についての報告があった。



▲祝辞を述べられる井戸知事

通常総会では、先に理事会で承認された3議案について審議され、いずれも原案通り承認可決した。

続いて、木南会長が小規模企業振興基本法の制定や全国連の月刊商工会誌の購読等について挨拶を述べた後、来賓を代表して兵庫県知事 井戸敏三氏、近畿経済産業局産業部長 須山稔氏からそれぞれ祝辞を頂戴し、通常総会を終了した。

第1回

チーフコーディネーター

研修連絡会開催

県連合会は、5月12日、神戸市・兵庫県商工会館で第1回チーフコーディネーター研修連絡会を開催した。

本研修連絡会は、26年度認定された25名のチーフコーディネーターの研修及び意見交換を行なうことを目的としている。

当日は、県連合会 足立常務理事の開会挨拶のあと、中小企業大学校関西校から中小機構が開催する研修の取り組みについて説明があった。

その後、宮地事務局次長がチーフコーディネーターの役割について、「商工会が行なう経営指導の中心的役割を担うとともに、後任となる人材の育成の推進役も担う重要な役割である」と説明した。また、上山主任チーフアドバイザーからは小規模事業者持続化補助金申請支援の注意点として、申請の際のポイントとなる経営計画書の作成方法について説明があった。

その後の意見交換では、今後の研修連絡会の運営及び相互の情報共有についての方向性を定めた。

平成26年度チーフコーディネーター認定者は次のとおり。

淡路市	宮崎	宏明
篠山市	北島	篤
丹波市	塩見	眞吾
丹波市	後藤	和敏
朝来市	水谷	信幸
豊岡市	成田	孝志
豊岡市	森田	きよみ
宍粟市	山本	剛
佐用町	古田	英利
上郡町	田中	裕之
たつの市	廣瀬	敦史
福崎町	吉澤	幹夫
神河町	岸本	克己
稲美町	松田	健一
多可町	後藤	泰樹
加東市	柳	隆之
加東市	加藤	幸雄
吉川町	小林	賢一
猪名川町	藤森	薫
猪名川町	西川	真博
三田市	森本	和浩
川西市	小畑	勇治
川西市	古井	伸英
芦屋市	辰巳	博計

(順不同
敬称略)

7月のこよみ

- 2日(水) 県女性連正副会長・常任理事会
- 2日(水)～3日(木) 金融審査委員[マル経]研修会(篠山市)
- 7日(月) 第1回管理職養成研修会
- 7日(月)～8日(火) 金融審査委員[マル経]研修会(姫路市)
- 10日(木)～11日(金) 事務局連絡会議[事務局長等研修会](南あわじ市)
- 14日(月) 第2回業務別研修会(地域振興事業支援)
- 14日(月)～15日(火) 金融審査委員[マル経]研修会(加東市)

- 16日(水) 青年部全国大会準備委員会
- 16日(水)～17日(木) 金融審査委員[マル経]研修会(香美町)
- 24日(水) 第2回青年部幹部講習会・主張発表大会

8月のこよみ

- 6日(水) 第2回レベルアップ研修会(B研修)
- 20日(火) 第2回中小企業支援力向上研修会

一中小企業と共に50年一

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合 兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階

☎ 078-361-8083 Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

地域力活用市場獲得等支援事業

ECサイト「ニッポンセレクト.com」に係る掲載商品の募集について

全国商工会連合会では、地域力活用市場獲得等支援事業のうち、中小企業・小規模事業者が製造・販売している地域産品等を全国から集め、ECサイトを構築して広く紹介・普及すること等を目的に今年2月にECサイト「ニッポンセレクト.com」を開設しています。

既に約1,000商品が掲載されていますが、本サイトの充実及び認知度の向上、本サイトを活用した更なる中小・小規模事業者の商品展開力・販売力の向上等の支援を目的に5,000商品掲載を目標にしています。

応募いただいた商品については、「ニッポンセレクト.com運営事務局」にて審査・選定のうえ、出品登録手続きを経て、順次サイトに掲載していく予定ですので掲載希望の方は各商工会へお申込みください。

応募いただく商品の条件

①自社で開発、製造又は販売をしている商品（「食品」、「非食品」）

- ・衛生基準、計量法、その他関連法令に反する商品の出品は避けてください。
- ・食品は、冷凍、冷蔵、常温の商品
- ・センター一括納品（常温、冷凍及び企画特集商品）又は産直対応可能な商品

②地域性や季節性がある商品や生活必需品である商品を応募してください。

例：米、果物、酒、お茶など

③出品商品の単価の目安は、3,000円以上としてください。

※推薦いただいた商品について、審査結果等により掲載できない場合があります。



URL <http://www.nipponselect.com/>

小規模事業者 持続化補助金の現状

小規模事業者が持続的な経営に向けた経営計画に基づく地道な販路開拓（創意工夫による売り方やデザイン改変等）等の取り組みを支援する補助金、小規模事業者持続化補助金の1次公募受付が終了し兵庫県下で589件の申込みとなった。

1次締切（3月28日）が89件、2次締切（5月27日）が500件で1次締切は89件中88件の採択となった。

申込みが多かった商工会は次のとおり。篠山市63件、淡路市58件、丹波市と南あわじ市が39件。多可町38件、加東市37件と続いている。

尚、全国商工会連合会では、第1次公募に1次受付・2次受付の両方で約13,200件と、予想を上回る応募があったため、7月上旬に予定していた第2次公募を行わないこととなった。

県連合会では、各商工会からの要望も多くあるため、今後も同補助金の予算要望を全国商工会連合会を通じて国へ行っていく予定。

兵	姫	播	日	西	中	但	但	神	淡	尼
庫	路	州	新	兵	兵	陽	馬	戸	路	崎
信	信	信	信	庫	庫	信	信	信	信	信
用	用	用	用	信	信	用	用	用	用	用
金	金	金	金	用	用	金	金	金	金	金
庫	庫	庫	庫	金	金	庫	庫	庫	庫	庫

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。
(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)

中小企業の皆様を融資でバックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号

兵庫県商工連協同組合

理事長 木南岩男

あなたのまちの**元気な企業**

サンセットビューホテル「けひの海」(南あわじ市)

ブライダル事業へ本格参入

旅館のおもてなしを継承

ブライダル事業への思い

「けひの海」は、保養所をリニューアルし、リゾートホテルとして生まれ変わり、今年で7年目となる。

社長の息子 藤川龍介代表は、ナチュラルウェディングへの取組みに思いを寄せ、昨年からチャペルを新設し、本格的にブライダル事業に参入しようと考えている。

設備では、ホテル内のカフェとテラスを改装。

新設のチャペルは松の古材を使用し、床には淡路瓦を敷き詰めてあり、まるで自然の立地の



▲ブライダル事業への思いを語る藤川龍介代表

中でウェディングを行っているような気持ちにさせる。

このチャペルを活用したブライダル事業は、経営革新の承認も受けた。

海では同社がしかけを作り毎日、海ホテルがきれいに見られる。山では6月頃から自然のホタルを見ることができるとい



▲幻想的な風景を演出する海ホテル

また、淡路島の食材を活かし、淡路牛・淡路玉葱・瀬戸内海の地魚などを取り入れた和食をメニューに取り入れるなど淡路島の食文化PRに熱心に取り組んでいる。

夕陽百選にも選ばれる景勝地、2.5kmにも及ぶプライベートビーチのような白い砂浜に約5万本



▲大人気の屋外プール

の淡路黒松が生い茂る「慶野松原」が目前にあり、四季を問わず絶景の夕陽が海に沈んでいく風景が見られ、観光客の心をとりこにしている。

地産地消への

取り組み

現在、同社では敷地内で野菜の栽培をしている。神戸で長年経験を積んだシニアソムリエが、淡路で野菜を育てていたが、その方を同社に招き入れることにより、収穫した野菜を地産地消できるようになった。

また、現在農地を借り入れて栽培する計画があり、地産地消を強化していきたいと考えている。未来に向けて、すべての食



▲松の古材や淡路瓦を使用し、ナチュラルウェディングを演出するために建設されたチャペル

やりがいと地域に対する思い

お客様からの「ありがとう」の言葉や、メールの書き込みで「とてもよかった」等のお礼の言葉をもらうことで、頑張ったかいがあると思える。

また従業員が、お客様からの

材を地産地消で賄っていききたいという思いと、淡路島の魅力を全面に出していきたいという思いを持っている。

今後は、ブライダル事業はもちろん本業のホテル業もブラッシュアップし、自然の景観を生かして、カップリングパーティー等の婚活事業などにも協力していきたいと考えている。

言葉で喜ぶ姿を見たときに「やりがい」を感じられる。

今後、初代社長や2代目の社長がつくりあげてきたこともさらにブラッシュアップしながら、組織を強化し、より良いものにしていきたい。

淡路島は、食べるものも「すべておいしい」、生活環境は静かで「のんびり」できるという魅力をもっと発信していきたい。

【企業概要】

企業名／サンセットビューホテル「けひの海」

代表／藤川龍介

所在地／南あわじ市松帆
古津路970-76
TEL 0799-37-3000
FAX 0799-37-3003

わくわくマップと大鳥圭介読本製作

～上郡町まちづくり塾～

上郡町商工会(小河清之会長)は4月21日、「まちづくり塾」の報告会を開いた。

えた人脈形成に結びつけば、と期待している。

同塾は、若者が上郡町のことを自由に語り合える場として、平成24年7月から毎月開催。青年部員と役場若手職員有志らを中心に、就業後の夜間に集まり、町の課題や魅力は何かなど、2年間にわたり意見交換を続けてきた。舵取り役をつとめたのは、神戸夙川学院大学の河本大地准教授。

同商工会では、この取組みが将来のリーダー養成と組織を超



▲発表会に遠山町長、衣笠副町長も出席

圭介読本」。マップは、他にない斬新なものと、エリア毎に担当を決め、塾生の主観をもとに写真とコメント、イラストで紹介した。また、同町出身の偉人・大鳥圭介の生涯を4コマ漫画13話で綴った読本は、小学校等の教育現場でも活用してもらいたいと、年表と対比しつつ、エピソードも交えた楽しい内容となっている。

発表会には、遠山町長や衣笠副町長も出席。塾生の報告を受けて町長は、「今夜はたくさん宿題をもらった。多くの人に喜んで住んでもらえる町づくりをめざしたい」と語った。

朝来市商工会 儲かる地域づくりへの挑戦

朝来市は竹田城跡、生野銀山等の歴史遺産や、岩津ねぎ、自然景観など、数多くの地域資源を有する。特に竹田城跡は、平成25年度の入城者数が50万7千人(前年比214%)で、観光地としての知名度が急上昇している。一方で、経済波及効果は7億1千万円(平成24年度朝来市調査)とされ、他の観光地と比べ低い。その要因は、竹田城

跡からまちなかへ観光客が周遊できるルートが

未確立なこと、店舗の集積がないことである。こうした地域経済の課題に対して、経済団体としての使命を果たすべく、朝来市商工会(奥藤博司会長)が牽引役となり「経営支援+地域支援」の両輪による商工会独自の力を発揮することで、「儲かる地域づくり」を推進している。

また、本年度は、経済産業省の地域商業自立促進事業の採択を受けて、同商工会は竹田地区のまちづくりNPOと連携して商店街の構築、インキュベーション施設の設立・経営支援を進めている。



▲竹田城跡(写真提供:吉田利栄氏)

ひようご支援の扉

会員事業所とのつながりを大切に



朝来市商工会 水谷 信幸

本年4月1日より兵庫県商工会連合会チーフコーディネーターの認定を頂きました。

5月に開催された第2期生の第1回チーフコーディネーター連絡会に参加し、意識の高い商工会職員の方々と接触ができる良い機会を提供して頂いたことに大変感謝しております。

商工会にお世話になって13年が経ち、当初の仕事内容から今までのような業務に携わってきました。私の住む朝来市は、竹田城跡の人気により観光客が大幅に増えています。人口は少子高齢化等の影響で減っており、事業所の発展や雇用確保等様々な問題が山積しています。

また、朝来市商工会の会員数も減少傾向にあり、職員数も平成22年の朝来市商工会合併当初20名いましたが、現在は14名となり、市内に商工会以外の支援団体設置構想もできている中、地域の経済団体としての商工会の存在価値が大きく問われてきています。

商工会業務は常に変化し、幅広く奥深いということを日々実感しています。経営支援の業務内容も、以前は経営革新認定を中心に力を入れていましたが、近年は創業、第二創業、まちづくり、小規模事業者持続化といった補助金申請の支援案件が増えています。会員のニーズに応え、より早く効果的な情報を的確に

伝わるよう支援体制を整えておかななくてはなりません。そのためには、日々のつながりや巡回を通じて、コミュニケーション(顔と顔を合わせた会話)を図りながら、人間関係を築き上げていくことが一番大切だと考えています。

私自身「義理」「人情」という言葉が好きで、古臭いと思われるかもしれませんが、お世話することが日常苦になりません。そうしたことから、日常業務でも声をかけていただく機会も多く、それが仕事の活力にもなっています。

適切なアドバイスができ、自身の提案により企業経営が改善し、良い方向に進むことが商工会職員としての願いでもあります。ただ良い部分だけでなく、力不足で期待に応えられない場合もあります。

良い情報を得たと思った瞬間もう締切期限が直前だとわかり、なぜもっと早く情報を取らなかったのかと後悔してしまうこともあります。

会員企業様の分析や事業計画の提案だけでなく、商工会や職員としての解析や目標設定も必要と考え、将来的な目標をもち行動することが自信となり、会員企業様に対して自信をもって提案できるのではないのでしょうか。会員企業様と密接に連携し、人との関係を大事にし、お互いが良くなる知恵と、力を貸し合えば、どんな困難でも乗り越えられると思っています。

今年度から新たなチーフコーディネーターの方々と連携し学び、情報共有を図り、会員企業様の発展と地域の活性化のために微力ながら貢献できるよう日々努力して参りたいと思います。

コラム

朝来市商工会

和山駅前トラ市5周年を迎えて

和山駅前トラ市は、「賑わいとふれあいを取り戻そう」と、商店街店主で構成する実行委員会を中心に、地元金融機関の若手行員、商工会青年部員、OBらにより平成22年4月から、毎月第4土曜日午前に開催されてきた。トラ市では、売り手と買い手が身近にふれあい、また地域住民の皆さんの憩と交流の場として、以前の商店街の姿を取り戻している。現在、常時約20の店舗が出店しているが、市外、

県外からの出店者も多くその販売品目は地元野菜、青果、花、惣菜、菓子、乾物、衣類、雑貨など様々で、市内高校生と出店者によるオリジナル商品の開発、「空き店舗」や「買い物弱者」への対策を視野に入れた市場調査など、「これからの地域活性化」への取り組みも実施している。



▲来場者に大人気のトラ市

的な周知活動を行い、地域において欠かすことのできない「市」として継続していく予定。

多可町商工会
20%お得な「たかちょうプレミアム商品券を発売」

多可町商工会(三村秀策会長)は、昨年11月10日、20%のプレミアムを付加した「たかちょうプレミアム商品券」を町内3箇所の会場で販売した。都市部ではアベノミクス効果で景気に明るい兆しが見えるものの、当地域では人口の減少・少子高齢化、消費の流出など商業を取り巻く環境がことのほか厳しい状況が続くなか、町外への流出防止や潜在需要を喚起することを目的に多可町と連携して総額8,400万円(うちプレミアム分1,400万円)のプレミアム商品券を発行した。

販売は午前9時からとしていたが、町内200店舗で20%もお得な商品券が利用できることあって各会場とも長蛇の列ができるなど多くの人で賑わい、大好評のうちに完売した。



▲多くの人で賑わう会場

三田市商工会

震災復興フェスティバルin有馬富士

～気持ちの灯を三田から東北へ～

三田市商工会青年部(部長・中西孝之)は、5月11日、県立有馬富士公園にて「震災復興フェス」を催した。



▲大勢の来場者で賑わった

後には国内外からも多くの方が被災地支援を強く意識していたが、現在では被災地支援の意識やきっかけが薄れているのではないかと危惧されている。そのような中で、同商工会青年部は「誰かに」任せるのではなく、我々が率先して取り組まねばならないと考え当事業を行った。当日は好天に恵まれ、約8,390人の来場者があった。事業内容としては、特産品である「恋し浜ホタテ」の貝殻を

絵馬にして奉納し願い事を祈念する風習があることから、来場者にメッセージを記入して貰おうと、焼きたての「恋し浜ホタテ」を無料で食べて頂き、被災地の特産品PRと精神的な復興に協力した。また、近隣の商工会、青年部や関係団体の方に飲食ブース



▲来場者を集めて防災教室を開催

スの出店や各地区の特色のあるグルメや東北関連商品の販売と出店料及び売上金の一部を義捐金として協力頂いた。更には、防災意識の向上をねらった体験型の防災ブース、消火器の使い方、緊急時に関する心得等等の説明をした。また、特産品の「恋し浜ホタテ」の販売に取り組む事業所もあり、被災地事業所との商業的な交流も創出することが出来た。

来場者の皆様をはじめ多くの方より次年度以降も引き続き開催して欲しいとの要望があり、非常に有意義な事業であった。

あなたの“信用”が

さらにアップ

兵庫県信用保証協会

神戸市中央区浪花町62番地の1

☎078(393)3900(代表)